



題字
 相田コマ
 初代女性部長

女性部だより
 調布市商工会女性部

〒182-0026
 調布市小島町 2-36-21
 TEL:042-485-2214

不安定なウイズコロナ時代

女性部長 大竹 勝子



も待ち望んでいたかのように大勢の人・人・人。皆の声も明るく賑わい、良い「アセ」をかくことが出来ました。これもひとえに、会長・局長・事務局・青年部の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

なかなかすつきりしない二〇二二年の幕明けとなる。女性部研修委員会企画の新年研修懇親会はやはり、安全を考慮し中止のはこびとなる。

また、新型コロナウイルス接種も五度目となる中、打った人・打たなかった人とまちまちの声が多くあり、暑い暑い夏が過ぎる頃、商工まつりはいろいろな制限もある中、実行決定となる。

女性部も飲食物販は今年は見送り、バザーのみの参加となる。好天に恵まれ、久しぶりの商工まつりに市民

少しづつ女性部の行事も動き始め、商工まつり・NTR-e-citylabo（日帰り研修）・多摩川クリーン作戦、また、調布クリーンセンター跡地に出来たR225調布に広報委員会の調布探訪で参加する。こちらは市の方に案内・説明を頂くことが出来た。

押し迫つての忘年会を会長・局長・相談役根岸様・相談役松村様に参加頂き、イタリアン「イルキャンテイ」で数年ぶりに開くことが出来、おしゃべりに花が咲く。楽しいひと時でした。

年が明け、二〇二三年元旦。さわやかな新年を迎える。コロナも収束までとはいかないが、延期延期となつていた、新年研修会賀詞交歓会を三年ぶりに開催。クレストンホテルでホテルスタッフによるテーブルマナーの研修をご来賓もお迎えして、実行することができました。

立春が過ぎ、きりつとした空気の中にやわらかな日差しが感じられるようになって、世界が躍動を取り返しつある中で、長引くウクライナとロシアの紛争もこの二月で丸一年、これも終わりが見えない他国の問題だが、世界中を巻き込んでいる。

外国からの輸入品が多い日本は円安による影響を受け、酪農家は、生乳を一日何キロ・何トンもの処分するとのこと。スーパーから卵が消えている。小麦や輸入品が入つてこない。世界的に天候不順、干ばつだったり、異常気象だったり、身近な

食品の値上がりですごく感じる日々だが、梅から桜へと季節も移ろい、この頃は列島のあちらこちらから開花の声が聞こえ始め、例年より数日早いとのこと。

そんな中でも女性部として、SDGs「持続可能でより良い社会実現を目指す、世界共通の目標」についてもう少し知ろうという話が盛り上がっています。

17の目標のゴール、169のターゲット、二〇三〇年迄に達成すべき具体的な目標、世界から貧困を無くそう、環境、健康、海と山を守る。ジェンダー平等の実現など。解る目標もある一方、イメージが湧かないものもある。

又、今後役員で、女性部会員企業の訪問など、近況とか意見を伺ったり考慮したいものです。

桜の開花と共にWBC（ワールドベースボールクラシック）開催、テレビの前で老若男女の歓声が漏れ聞こえ、きっと大きな経済効果に繋がることでしょう。



第三十七回 通常部員総会



日 時…令和四年四月二十日
 会 場…調布クレストンホテル
 部員総数…本人 三十六名
 委任状 七十五名
 計 百十一名
 来 賓…七名
 議 案
 第一号議案…令和三年度事業報告並びに収支決算報告承認について
 第二号議案…令和四年度事業計画並びに収支予算決定について

以上の議案が上程され、各議案と

も可決されました。なお、総会終了後に懇親会が行われ、和気あいあいと部員同士の懇親を深めました。



多摩川クリーン作戦(春)

大勢の市民ボランティアの方々、そして女性部の有志の皆さんが八時に集まりました。ピンクの上着を着た皆さんが、一際目立って「女性部ここに有り」の感がありました。役員の方々挨拶等々の後、清掃を開始しました。ゴミが年々少なくなっていく、それを感じたのは私だけでしょうか。春秋のクリーン作戦

以外にも多摩川の河原を利用する皆様の意識が高くなり、ゴミが減少してきたと思います。

毎年続いているこの行事も継続していくという事が大切だと強く感じました。私も少しでも参加して調布の町全体にこれが広まり、きれいになっていくことを念じてやみません。一人一人のゴミを捨てない意識、そして行動。一つ一つは小さいことですが、継続して、次の世代につなぐって行く事を改めて願います。

河合 武子



関東ブロック商工会 女性部交流研修会



台風一過、雲の多い東京を出て車中から、富士山を横に望み、山梨県へ向かいました。関東ブロック商工会女性部交流研修会が、河口湖ステラシアターで二年ぶりに開催されました。コロナ禍で、全てのイベントが出来ず、久しぶりの研修会で参加の皆さんは笑顔がいっぱい。東京からバス三台、調布は六人の参加でした。ピンクのポロシャツで車中はまるで花が咲いたようでした。

会場に着くと、紫色のユニフォームの山梨県商工会の皆さんに「こんにちは、ようこそ」の笑顔で迎えられました。オープニングは陸上自衛

隊東部方面音楽隊の演奏で始まり
ました。ディズニーやアニメメモ
ロデー、マツケンサンバの衣装をつ
けた隊員のなりきった歌には手拍子
で盛り上がり、会場のアンコールで楽
しい幕開けとなりました。

商工会女性部の歌、誓いの言葉を
唱和し、ご祝辞やご挨拶を終えて、
いよいよ各県連女性部代表の主張発
表です。女性部員の手本である活動
であるという観点から、内容構成、
表現力、態度等により採点し、総合
点を以て順位が決定されます。

審査のポイント

- 女性部活動が、地域振興や街づく
りの貢献に相応しているか否か
- 自らの事業経営に生かされているか
- 女性部活動や女性部員の模範とな
り共感を得られるものであるか
- 女性部活動が創造性、アイデアに
富んだものであるか
- 明解で説得力があり分かりやすいか
- 表現力が豊かであり、人に好感を
与え、訴える力があるか等。

いずれもコロナ禍でイベントが中
止になりたいへん努力をされた様子
が伺えました。

なかでも静岡県伊豆市の発表は海
に囲まれた海の幸、食材を使った伊
豆市の魅力（味力）を再発見。修善
寺パーガーを、部員一同協力して試
行錯誤し、やっと作り上げた。地域

に貢献し社会を元気にしていきたい。
い。

また、魅力度ランキング最下位の
茨城県古河市商工会は旅行会社のツ
アーコンダクターの資格を活かし、
農園ランチで生産者と酒蔵を廻る体
験ツアーによって、食と食文化、農
園と酒蔵を点と点を結び面と面に。
魅力度最下位から幸福度ランキング
一位にしていききたいとユーモアたっ
ぷりに話されていたのが印象的だっ
た。

やはり一位になった発表は、説得
力があつた。生産量日本一のカレン
デュラ（キンセンカ）をつかった
”花いっぱい地域振興“の題で発表
された千葉県南房総市朝夷商工会女
性部が花摘み体験、乾燥花びらを
使って、キンセンカオイルを作った。
薬用ハーブや花びらを散らしたクッ
キーを開発して、地元の産業に参加。

新型コロナウイルスが中止になっ
たり大変だったが、逆転の発想でピ
ンチをチャンスにと、キンセンカを
庭先や店先に植え、成功事例を整理
し部員で勉強会をした。オレンジ色
のビタミンカラーで地域おこしをし
て日本中を元気にしていきたいと力
強く話され、心に響くものがありま
した。

表彰式、閉会式を終え、会場に心
を残し宿泊のホテルへ向かいまし

た。

二日目は（株）ユニファームの視
察見学。衛生管理された工場での食の
安全をスローガンに工場内のクリー
ンルームで水耕栽培されたアイスパ
ラントは、自然環境・季節に左右さ
れず年間を通じて安心安全な野菜を
提供しているとの説明がありまし
た。アイスパラントはたくさんの自
然の恵みが、いっぱい。ほどよい塩
味で美味しかった。

結びになります。発表はそれぞ
れのご苦労が感じられました。部員
が共に力を合わせて助け合い、勉強
会をして事業に結び付けている、ピ
ンチをチャンスにどのように活かし
ていくか、今こそ部員の結束力が大
切だと感じました。活動にできる限



り参加して、楽しい魅力ある女性部
にしていきたいよう。

加藤 みち子

第一回地域密着型研修会

九月一日、昨年に引き続き「おも
てなしセミナー」の第一人者古川智
子氏による研修にリモートで参加し
ました。

前回の復習もたくさんありました
が、「人は学んだ瞬間から忘れる。
二十分ですでに四十二%、一日後
には七十四%忘却してしまう」そう
です。なので新たな気持ちでパワ
アップの秘訣を聞くことができました。
た。

幾つかお伝えします。

- 「マナーとは守り」相手を不快に
させないこと。「おもてなしは攻め」
いつの間にか相手を気持ちよくさせ
ること。期待を上回る喜び、感激、
感動を与えること。
- 「笑顔は最高のおもてなし」心か
らの歓迎を!! マスク越しの表情は
「やさしいまなざし」で伝えましょ
う。

○自分の発している言葉や姿、出し
た情報の全てが「自分ブランド」。
特にリーダーは「自分ブランドを磨

く」こと

○自分の会社、職場、仕事に誇りを持つ。誇りを持つから頑張れる!!
○明るく、ポジティブに!!
心に響く言葉がいっぱい講座でした。今後に生かしたいと思います。

石井 恭子

共同募金事務作業協力



九月七日、今年も「共同募金」の事務作業に協力をする事となりました。

社会福祉協議会の会議室に商工会女性部のお揃いのエプロンで集まった十名。たくさんの段ボール箱からポスター、チラシ、募金袋の枚数を数え配布し易いようにセット。皆さ

ん慣れた様子で予定時間より早い作業終了となりました。

ポスター等は、調布市内の募金額の約六割を占める自治会、個人の方の元へ届いた事と思います。

また、令和三年度よりオンラインでの寄付も出来るとのこと、コロナ禍で直接お会いしたりする機会も難しくなった今、新しい方法での協力も有効に使うことが出来ればと思います。

「共同募金活動」が地域のつながりを絶やさないひとつのカタチになって行く事を願っております。

美野 ひろ子

チャリティーバザー



私たち調布市商工会女性部は、十月九日(日)、調布市役所前広場で行われた商工まつりに恒例のチャリティーバザーで出店参加いたしました。

コロナ禍で何年も開催が見送られ、数年ぶりのチャリティーバザーとなりましたが、感染症対策に留意しながら、盛大に開催されました。当日はお天気が心配されておりましたが、幸い雨に降られることなく、穏やかな陽気の中、たくさんのお客様にお越しいただきました。

会場では、タオルやお皿、お洋服、雑貨など、ところ狭しと並んだ商品が次々に売れていき、掘り出し物を見つけたと喜ぶお客さまのお顔が思い出されます。

かつての持ち主さまには不用品となった物も、チャリティーバザーによって、他に必要としているどなたかの手に渡ること、廃棄されることなく、ずっと使い続けてもらえると思うと、心がとても温まり、すばらしい事業に参加できているのだと誇らしく思えました。

日本人が昔から大切にしてきた「もったいない」という精神が息づいたこのすばらしい事業がこれからもずっと開催されることを願っています。

チャリティーバザーの売上金は、

すべて「調布市社会福祉事業基金」に寄付させていただいております。たくさんのお客さまにご提供くださった皆様、ご協力ありがとうございました。

そして何より、感染症対策の一環で、人数制限、さらに時間制限となり厳しい制限の中でも、本当にたくさんのお客さまがマナーを守って長い列に並んでくださいました。時間制限があることから、何度もお並びいただいた方もいらつしやいました。ご不便な状況にも関わらず、気持ちよくご協力いただきました。スタッフ一同、感動いたしました。本当にありがとうございました。

小田金 きよみ



献血運動協力



十月十九日 調布駅前広場にて日本赤十字社さんの献血が行われました。

女性部主催との事なので、メンバーで張り切って伺いました。心配していた雨も降らず、絶好の献血日和！

今回、宣伝でお配りするノベルティは可愛いキティちゃんのテッシュです。案の定、お若い方やお子さんには人気でした。

コロナ禍という事もあり、なかなか実際の献血にはつながりませんでした。とはいえ輸血に必要な血液に

待ったは無し。

みんなでも死に呼び込みです。その甲斐あつてか予定のノルマには若干とどかなかつたものの、まずまずの成果でした。

みなさんと久しぶりにこうした活動ができ、改めて女性部は楽しいな、と思えました。お疲れ様でした！

鈴木 あゆみ

商工会女性部全国大会

inみやぎ



今年の全国大会は、十月二十五日（火）、宮城県の仙台国際センターで行われました。早朝、東京駅に東京商工会女性部（三多摩）六十七名が集合し、調布市からは大竹部長と私が参加。新幹線に乗り、一路仙

台へ…。大会趣旨「みやぎの感謝のおもてなし・想いとともに前へ」をスローガンに十二時十分からオープニングセレモニーが始まり、総勢千六百人が参加しました。

近畿ブロック・京都府京北商工会では、観光名所等を誰もが手に取って分かりやすい「マップ作り」。地域内観光研修も実施し、工夫して完成させました。観光客やお店の方に喜んでほしい、女性部員・個人店・地域をつないだ事業となりました。

九州ブロック・福岡県飯塚市商工会は、飯塚の伝統技法である「筑前茜染め」をおもてなし交流事業に活用することにしました。日本で最初に日の丸を染めたといわれる茜染め。東京オリンピックでは、アラブ首長国連邦が手にしていたそうです。日本国旗は飯塚市の子供たちが染めました。

中国・四国ブロック・岡山県真庭商工会は、SDGsの達成に向けて、身近なゴミの分別や環境に配慮した花壇整備などに取り組み、次世代に少しでも住みよい環境とみんなが笑顔で過ごすことのできる明るい未来を作るために「女性部ができるSDGs」をやっていききたいと主張しました。

関東ブロック・千葉県南房総市朝夷商工会は、生産量日本一のキンセ

ンカで地域貢献をしたいと考え、別名、カレンデュラ、と呼ばれる、花びらを使った「カレンデュラクッキー」を開発し、イベント等で販売し、今後も日本一のカレンデュラを使った「花いっぱい地域振興」を続けていきたいとのこと。

中部ブロック・石川県宝達志水町商工会は、戦国時代で能登国と呼ばれていた頃、前田利家と佐々成政が戦った、末森合戦は歴史ある戦いだと知り、この戦いを「紙芝居」にし、未来に語り続けていこうと決めました。その中で部員同士や地域の方々、町の組織との繋がりができたこと、女性部の活性化を図ることができました。

最優秀賞の東北・北海道ブロック・福島県滝根町商工会は、昭和四十年代に地元で愛されていた今はなき、木村精肉店のコロツケの優しい味の復活を求めて女性部で三か月間、試作を繰り返し完成。「きむコロ作り」を通して地元の小学校とも交流することができ、地元のソウルフードとしても人気となり、「きむコロで国際交流をしたい」と元気に主張しました。

全国大会のブロック代表者だけでなく、皆、表現力が豊かで内容も素晴らしいものでした。

基調講演は、宮城県牡鹿群女川町

生まれの俳優で歌手の中村雅俊さん。テーマ「出会いに感謝」では、外交官を目指していた大学三年生の時、仲間と英語のお芝居をしていて、レコード会社との出会いがあり、その時の出会いがなければ、今の僕はいなかった、とのこと。人生はいつでも選択だけど、選んだ道を後悔しないこと。成功と失敗のなかで、失敗は頑張れば挽回できること。そして人生に感謝すること。とお話してくださいました。

仙台国際センターから、楽しみにしていた秋保温泉、ホテルニュー水戸屋に泊まり、美味しい食事をいただきながら、他の商工会の方々と交流を深めました。



次の日は平泉学習交流館に行き、平泉町・世界遺産についてお聞きしました。五月の春の藤原まつりでは源義経公東下り行列が有名で、令和三年、六月に世界遺産に登録されました。平泉町の女性部はイベントごとに地域を盛り上げ、おもてな

し事業をやっています。それから、中尊寺・国宝金色堂・毛越寺へ行き、金色堂は堂の内外に金箔が押し、装飾は目を奪われます。堂全体が美術工芸品のようで、感動しました。毛越寺の浄土庭園は、平安時代を忠実に造られたものだそうです。お天気に恵まれ紅葉が池に映り込む画像は、とても綺麗でした。歴史をもう一度学習して訪れたいものです。一ノ関駅から新幹線で東京駅へ・・・

とても充実した二日間でした。

北川 由紀子

歳末助け合い運動事務協力



十一月八日、総合福祉会館にて歳末助け合い運動事務協力に参加してまいりました。これは、十二月からはじまる共同募金活動において、各自治体・町会などに配布される数種類のチラシや資料などを必要な枚数の束にセットしていく作業になります。

参加者全員で取り組む作業は、この活動がよりよい社会のためになればと思いつながりながらチームワークを発揮して予定より早く作業を終えることができました。

ご協力いただきました部員の皆様ありがとうございました。

白井 久美

部員増強

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経済環境の中、調布の事業者は互いに手を取り合いながら頑張っています。

調布市商工会女性部にとっても厳しい環境は例外ではなく、廃業などの理由から、平成十年度の二百三十六名をピークに減少の一途をたどり、本年度初めには百十九名となりました。商工会女性部は互助の組織です。

部員数の減少をこのまま許せば、

支えあいの力を徐々に失い、女性部そのものだけでなく、歴代の女性部員が担ってきた調布の街の賑わい自体が活気を失ってしまうことになりかねません。未来に向けた女性部発展のため、新しい部員を広く募集し、女性部の輪を広げていくことを目的に、九月～十二月の四か月間、地域振興委員会・正副部長会では部員増強運動に取り組みしました。期間中に限れば、一名の入部が実現しました。

さらには、期間の内外を問わない皆様のご尽力により、本年度七名の新入部員を獲得することができました。女性部加入は随時受付をしておりますので、ぜひご紹介いただき組織の活性化にご協力ください。連絡は事務局または地域振興委員まで。

日帰り研修会



十一月十七日は商工会女性部の秋の研修会でした。京王線仙川駅から徒歩約二十分に位置する「NITE-CityLabo」へ見学に行っていました。

センターは広大な敷地の中、正門をくぐると青空のもと銀杏並木が紅葉して大変綺麗でした。

こちらの施設では、今後のICT・ドローン・再生エネルギーなどの活用により、将来的な日本の産業や地域の取り組みがどのように変わっていくのか、担当の方より説明を受けながら視察致しました。

例えば、農業は今後将来的には、畑に行かずに遠隔で別の場所からモニターを見ながら管理をしたり、手作業で散布していた農薬もドローンで散布することが、当たり前になつていくそうです。

昔からの農業のイメージを全く変えた新しい取り組みに、目から鱗のお話をたくさん伺うことができました。

こちらの施設では、調布市市立の近隣の小・中・学校や保育園など地域と連携し食育を進めているそうです。給食の残りや調理残菜を受け取ってメタン処理を行い、食品由来の液肥を生成する。食品リサイクルに関する環境学習の取り組みも行って

います。またそれが還元されて野菜になつていく、サステナブルな取り組みも今の時代らしい方法で何も無駄にするものはないのだなと感じました。

特に驚いたのは、遠隔操作によるロボットが水や肥料をあげたトマトがおいしそうに育つていたことです。真っ赤に育つたそのトマトも市内の学校給食に使用されているそうです。

一本のトマトの苗から今までの十倍のトマトが成るそうです。お土産でいただいたサニレタスは今まで食べたことがないくらいシャキシャキで、色も鮮やかで新鮮でした。農業も昭和の時代の考えから、新しいテクノロジーを取り入れ、新しい時代を迎えているのだと感じます。

又最近のニュースで日本の食料危機に備えて昆虫食に取り組んでいかれるそうで、新しいテクノロジーやAI・ICTなどどんな時代が進化していく中で、我々年配者が取り残されることなく、時代についていけないといけないと強く感じております。

スマートフォンが普及し日々の生活になくはない存在になっていますが、より日々進化していくテクノロジーにもついていけるように刺激を受けながら、生活していきたい

らと思っております。

山本 美枝子



クレストンホテルスタッフに学ぶテーブルマナー

三年振りに女性部の新年研修懇親会が二月一日(水)調布クレストンホテルで行われました。

講師は、調布クレストンホテルスタッフ・アシスタントマネージャーの田崎翔様にお話ししました。

テーブルマナーとは食事の際に用いられる道具を使い、食事を共にする人々に敬意をはらうマナーの事です。

まず初めにテーブルの上にセッティングされているアンダープレー

ト、ナイフ、フォークの説明を聞いているうちにほどなくするとお料理が運ばれマナーの実践開始です。

田崎様の丁寧な説明を聞きながらひとつひとつお料理を頂きました。プレートを中心に左側にフォーク、右側にナイフやスプーンが置かれています。使う順番は外側から出される料理の順番に使用します。

途中で一旦ナイフ、フォークを置く場合の置き方、お皿は持たず置いたままお料理を頂く、スープを頂くときはスプーンを運ぶ方向、音をたててはいけない事、パンを頂くときにスープをつけていいか(周りの状況を見ながらが望ましい)、切り分けたお料理はフォークの背に乗せて頂く等々。

そして、テーブルマナーにはイギリス式とフランス式があり其々のマナーについてもお話がありました。一般的にはフランス式のマナーが多いようですが、国賓で招かれる夕食会などではイギリス式のマナーで頂くのが原則との事でした。

また、手荷物の置き場所はテーブルの下に、お料理を待つ間の手の置き場所はテーブルの上に、そしてお料理を運ぶホテルスタッフのルール(マナー)など今まであまり気にしていなかった事もお話しくださり大変勉強になりました。



テーブルマナーは「これが正しいテーブルマナー」という決まりがないという事です。
 マナーを気にしすぎて楽しく美味しく食事が出来ないという事のないよう自然な振る舞いが出来たらいいと思います。
 最後に、コロナの感染拡大により開催出来なかった女性部の新年研修懇親会が無事に開催出来ました事を中心から嬉しく、参加頂きました皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

相田 悦子

調布探訪第二十四弾 BRANCH 調布を訪ねて



令和四年四月吉日、調布市クリンセンター跡地に新たなランドマーク誕生！

BRANCH 調布です。市の方にいろいろご説明頂き、「公」の部分と「民」の部分とあり、「公」の部分としては、地域交流の促進と高齢者の健康づくりを目的としたふじみ交流プラザ。「民」の部分には店舗やクリニック地元住民の暮らしに寄り添った、地場野菜販売、子どもたちによる太鼓の演奏などのイベントが行われたり、一階・「いこいの広場」、二階・「みはらし広場」、三階・「あそびの広場」、魅力的なスポットがずらり。

BRANCH 調布は、人がつながりまち

にひろがる“がコンセプトの施設として誕生。その大きな魅力がグルメリ ショッピングと多彩なカテゴリーのテナント。

町の社交場として緑豊かな三つの広場は、多世代が集って大いに利用できます。駐車料金が2時間まで利用料無料であるというのも魅力です。

一階には、カフェ&レストラン、ソフトバンクブランチャ調布、二階には家電量販店“デンキチ”、クオール薬局、三階には金剛寺内科クリニック、くら寿司等。

街づくりの社交場として大いに利用し、女性部も近隣市との地域密着型の場として利用出来たらと思います。



大竹 勝子

編集後記

コロナ禍もひと段落しました。”たつくり“も第三十八号が出来上がり、広報委員もほつとしているところです。

皆様にご協力頂きまして、ありがとうございました。これからも原稿をお寄せ頂くことがあると思いますが、よろしくお願い致します。簡単ですがお礼申し上げます。



広報委員長

副部長

北川由紀子
 美野ひろ子
 桜井 朝子
 中島 洋子
 鈴木あゆみ
 白井 久美